

RICOH fiシリーズと連動した

KDbarout_fi

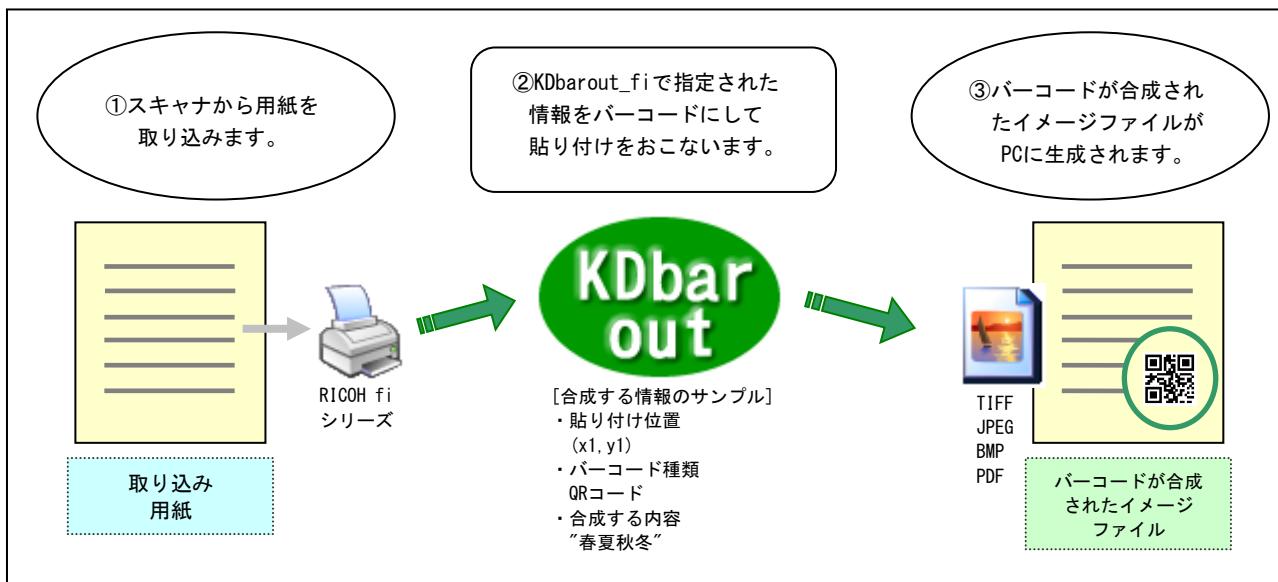
バーコード・テキスト合成、
イメージデータ編集プログラム



Kernel Computer System
カーネルコンピュータシステム株式会社

[概要]

RICOH fiシリーズからデータ(用紙)を取り込む処理を対象にしたアプリケーションです。スキャナから取り込むデータの指定位置にバーコード(1次元・2次元)のイメージを合成(貼り付け)します。バーコードの他にテキストイメージ、ビットマップの貼り付けをおこなうことができます。



[合成が可能なバーコードの種類]

(1次元コード)

CODE39/128, GS1-128(UCC/EAN128)(コンビニバーコード, 医療資材商品コード), JAN8/13, ITF, NW-7, 郵便カタマバーコード

(2次元コード)

QRコード(マイクロQRコード), PDF417(マイクロPDF417), DataMatrix, MaxiCode, GS1 DataBar(RSS), EAN/UCC合成シンボル

[商品導入の背景、狙い]

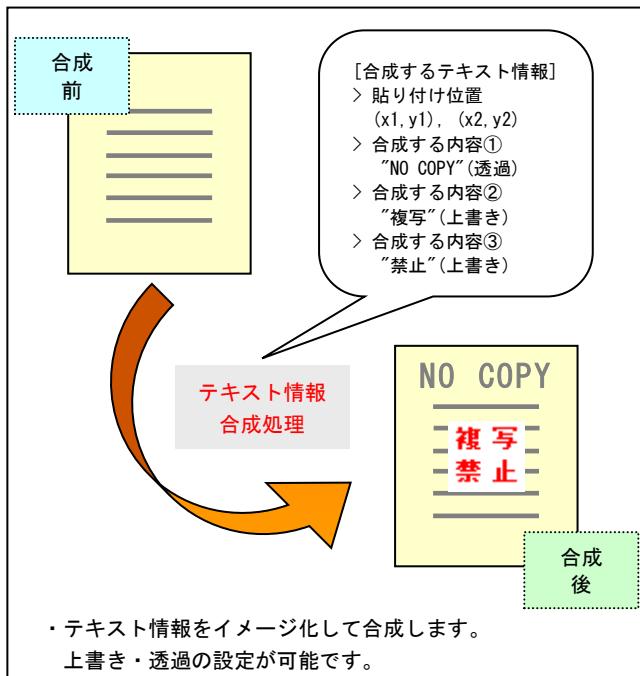
- ①バーコードを利用した運用をおこなうためにバーコードを合成します。バーコードは誤認識率が高いことが特長でバーコードを合成することによって精度の高い情報を付加できます。
- ②スキャナから取り込むデータに新たな情報としてテキスト(社名, 名前, “複写禁止”, “重要”など)、ビットマップ(ロゴ, 印鑑, その他スタンプなど)の貼り付けをおこない、さまざまな用途で活用します。
- ③データの変換機能(分割, クリッピング, 余白カット, 2UP/4UP, スケーリング, ノイズ除去, 色調整, ZIP圧縮とパスワード設定, フォーマット変換, 新規ページの追加, 定型サイズへの統一, 回転など)を使用することにより、ユーザーの目的・要求に応じたイメージデータを作成します。

[その他の特長]

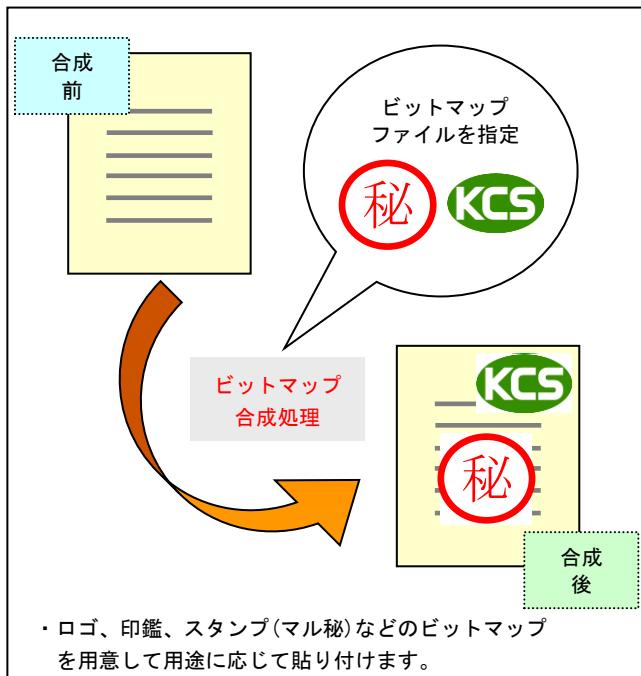
- ・内容の異なる合成要素(バーコード, テキスト, イメージ)を最大100個まで同時に合成できます。
- ・バーコード, テキスト, イメージの合成時に各種設定をおこなうことができます。
(貼り付け位置, バーコードのサイズ(精度)調整, 各バーコードの固有機能の利用, 上書き/透過, 貼り付けページ指定, 透明度の設定, 色設定, 方向(0, 90, 180, 270度)など)
- ・出力フォーマットはTIFF(G4, PackBits, LZW, deflate, JPEG, 非圧縮)、JPEG、BMP、PNG、PDFに対応しています。
- ・設定した情報をセーブ/ロードすることができます。

[機能概要]

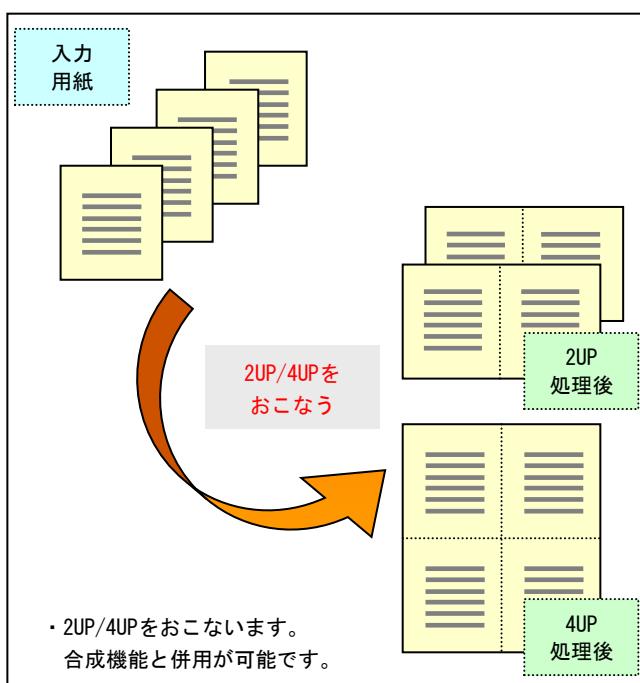
[テキスト合成]



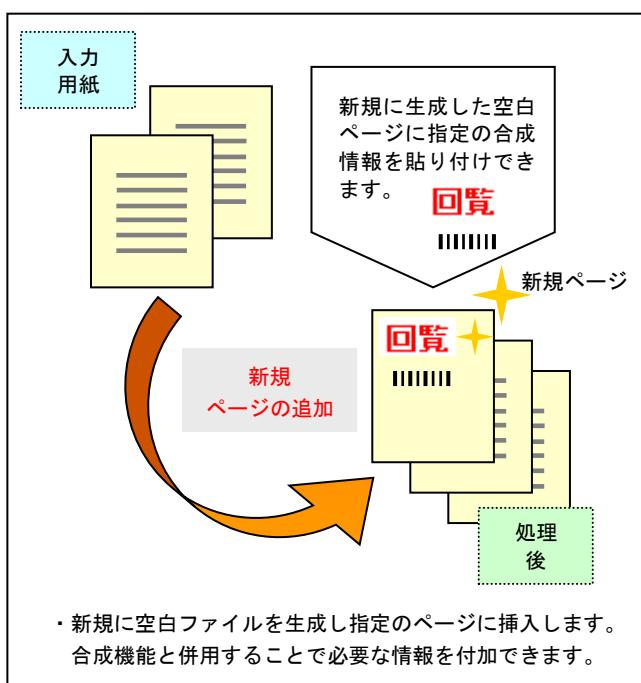
[ビットマップ合成]



[2UP/4UP]



[新規ページの追加]



[動作環境 & 価格]

- > 対応OS
Microsoft Windows 10/11/Server 2016/Server 2019/
Server 2022/Server 2025 (日本語版) が動作する環境
※RICOH fiシリーズが必要
- > 製品名 : **KDbarout_fi**
バーコード合成プログラム
販売価格 : ¥150,000(税別) / 1ライセンス



Kernel Computer System

カーネルコンピュータシステム株式会社

本社

〒221-0056

神奈川県横浜市神奈川区金港町6-3 横浜金港町ビル6階

TEL : 045-442-0500 FAX : 045-442-0501

<https://www.kernelcomputer.co.jp/>

松山事業所

〒790-0003

愛媛県松山市三番町7-1-21 ジブラルタ生命松山ビル4階

TEL : 089-943-0448 FAX : 089-941-8578